



平成 25 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸  
(JASDAQ・コード 6629)  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役 渡邊 毅  
電話 052-823-8551

## 営業外収益及び特別損失の発生並びに 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成26年3月期第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）において、営業外収益及び特別損失が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成25年7月25日に公表しました平成26年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異につきましてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の内容

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の決算において営業外収益（為替差益）367 百万円の計上がありました。これは当該期間に為替相場が円安に推移したことによるものです。

#### 2. 特別損失の内容

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の決算において特別損失（固定資産除却損）122 百万円の計上がありました。これは当該期間に光学事業において事業構造改革の一環として金型や治具等を除却する費用を計上したことによるものであります。

#### 3. 業績に与える影響

上記の営業外収益及び特別損失の計上による業績への影響等につきましては、本日公表の「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信[日本基準]（連結）」をご参照ください。

4. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績との差異

(1) 平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績との差異  
（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,500	△340	△30	△530	△39.32
実績 (B)	12,168	△339	20	△568	△42.18
増減額 (B - A)	668	1	50	△38	—
増減率 (%)	5.8	0.3	—	△7.2	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	14,616	29	83	△30	△2.20

(2) 差異が発生した理由

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、売上高が主要事業会社で増加し、予想を上回りました。また、為替相場が円安に推移したことで為替差益による営業外収益が増加し経常利益は黒字化しました。四半期純利益につきましては、事業構造改革費用の計上により、前回発表予想を下回る結果となりました。

以上